

1 市長あいさつ

- ・今日は「高浜市の未来を描く市民会議」でリーダーをお願いしている方にお集まりいただいたが、日頃から高浜市の中の色々な分野でご活躍の方々ばかりである。すばらしい総合計画ができると思っている。
- ・まちづくりシンポジウムでも触れられていたが、総合計画が絵に描いた餅になってはいけない。高浜市にとって本当に必要なものを協議していただきたい。特に、皆様方は、地域や組織、事業所でご活躍の方々なので、市民のため、自分たちの町のために必要なものをつくっていただけると信じている。今日は中川幾郎先生にもお越しいただき、お話しを聞く中で、皆様のお知恵を頂きたい。

2 辞令交付

市長より、各委員に辞令交付

3 自己紹介

委員・事務局ともに自己紹介

4 議事

1) 会長・副会長の選出について

委員の互選により、以下のとおり決定した。

会 長 中川幾郎委員

副会長 板倉良平委員

【中川会長あいさつ】

- ・奈良県生駒市や兵庫県西脇市で総合計画審議会の会長を務めた。神戸市では神戸 2010 ビジョン検証委員会委員も務めている。
- ・総合計画は、首長のマニフェストだけでなく、市民と議会が一致団結して確認して計画するものである。地方自治法による策定の義務付けが解除されるかもしれないが、市民がつくる高浜市という観点から、政治的に担保するべきものである。
- ・今までの総合計画は絵に描いた餅で文章ばかりで、基本構想部分だけが議決対象だということを拡大解釈し、基本計画や実施計画に対して議会が無関心で、関知・干渉すべきでない態度が多かった。基本構想を踏まえた基本計画でもあるので、基本計画等に対して議会が無関心であってはならない。
- ・例えば、神戸市では数値を入れた非常に厳しい進行管理をしている。評価委員会で達成度評価と現在に至るベクトルが上向きなのか下向きなのか評価される。これは実は政策評価システムとも連動する。
- ・事業仕分けは良い面と悪い面がある。良い面は市民が身近に予算編成や仕事の中身を理解し評価に関われるということ、悪い面は福祉、社会的弱者に対する生活手当てとか、ポピュリズムの中でなくす危険性があるので、そうしたことをよく考えながらやらないといけない。総合計画の中できちんと数値化されていれば、イージーなポピュリズムに流れないで済む。単なるコストダウン評価ではなく、正しい意味での政策評価、アウトカム評価ができると言われている。今回は、非常に重要な仕事だと思っている。皆さんの力を借りながら進めたい。

2) 諮問

市長から中川会長に諮問がなされた。

3) 専門部会について

委員の互選により、以下のとおり決定した。

福祉環境部会 → 部会長 竹内亨弘委員、 副部会長 神谷通夫委員

都市基盤部会 → 部会長 神谷和之委員、 副部会長 神谷環光委員

総務教育部会 → 部会長 神谷小百合委員、 副部会長 尾方勝利委員

4) 審議会の運営について

事務局から資料3「高浜市総合計画審議会 会議及び会議録の公開について（案）」を説明

【意見の要旨】

委員：議事の概要はどの程度にするか。

事務局：要点筆記を考えている。

—原案どおり承認される—

5 その他

第2回審議会を、平成22年1月25日（月）午後7時から開催することとした。

以 上